

# 村長と語り合う タウンミーティング

20230715質疑応答

## 代表的な質問

## 村長からの回答

学童・児童サロンについて。居住地の近くに配置し、突発的な出来事にも対応してくれるような場を作ってはどうか？ 子供たちが遊び場として使える場所としても良いのでは？

子供の居場所づくりは本当に大切。児童館のような場所が必要だと考えているが、場所と運営者の問題がある。過去、児童の集まる施設で事故があり、運営の課題がある。現状ではコミセンが妥当だと考えている。障がい児の場合、特別支援学校→放課後デイサービスという制度を使ったサービスもある。

自動運転車の導入。公共交通の課題解決として。自動運転バスのようなものを実証実験から始めてみては？

県内では境町が注目されている。仮に実証実験を始めた場合、どうしても大通りがメインになってしまう。今の課題解決につながるのか？他自治体の動向を見守りつつ検討を進めていく。

## 代表的な質問

AI時代、独創性がある子供を育てていく必要がある。遊び方も大事で、部活の指導が問題になることもあるのでは？

災害発生時の避難所について。子供だけで家にいる家庭や、避難にサポートが必要なケースもある。また、最近の防犯面では、悪意ある人が問題となることもあり、その対応も必要では？

## 村長からの回答

子供たちの学習環境にITやAIが浸透しつつある。教育手法が変化する中で、教育内容も変える必要性を感じている。村は村民活動支援として、学校と家庭間のつながりを作っていきたい。夏休みは、役場だけでなく企業にも協力してもらいエンジョイ・サマースクールも実施しており、ご提案のような、子供たちに自然体験、地域との関わりは社会教育の分野で提供できるよう取り組んでいる。

これまでは高齢者の一人暮らしに焦点を当てて取り組んできた。日中子供だけになってしまう人もいるが、これはフォローできていない。こういう家庭が取り残されないように考えていきたい。今年度は、村政懇談会において、全てのコミセンで防災対策を話し合う予定である。

防犯カメラの整備によつての抑止対策にも防犯対策にもなる。価格が下がってきていることもあり、地域、地区での整備から、各個人の対策に広がっていくと思う。

## 代表的な質問

防犯に関する話に関連して、自治会について考えた。お葬式対応などで負担を感じ、自治会を抜けて、そのままというケースがある。自治会に加わっていないがゴミ集積場の掃除には関わっているというケースもある。自治会の在り方、未来はどうなるのだろうか？

## 村長からの回答

以前は自治会がお葬式全般で協力しあうこともあったが、いまは主にゴミに関することが中心となってきている。今入っている人も、自治会に入る意味、メリットがわからないという話もある。

災害発生時にはメリットを感じてもらいやすいが、平時は難しい。地域の一員として、社会の中で生活しており、協力し合うことでよい地域を作れるということを粘り強く伝えていく必要性を感じている。

## 代表的な質問

## 村長からの回答

空き農地について。昔、村の仲介で空き農地を借りて農業をしていた。今は直接契約して農業をしているが、昔のように村が貸し手と借り手の間を取り持つようなことはできないか？

農業支援センターにそのような機能が以前はあった。しかし、利用者同士のトラブルがあり、また農地運用の変化もあって辞めてしまった。現在も検討はしている。今年から来年にかけて、農地に関する考えをまとめることになっている。集落ごとに座談会形式で話し合いを進めていく。

奨学金について。返還なし(給付)も検討しているとのことだが、結果受給できる人数が減ってしまうという危惧もある。

日立市が独自に頑張っている。それが好評だと聞いている。企業からの支援も含めて検討していきたい。若者が借金を背負ったまま、社会に踏み出すのは大変だと思う。その解決手法の一つとして検討していきたい。